

三田盆地に分布する神戸層群の層序を調べる 細川層の凝灰岩層

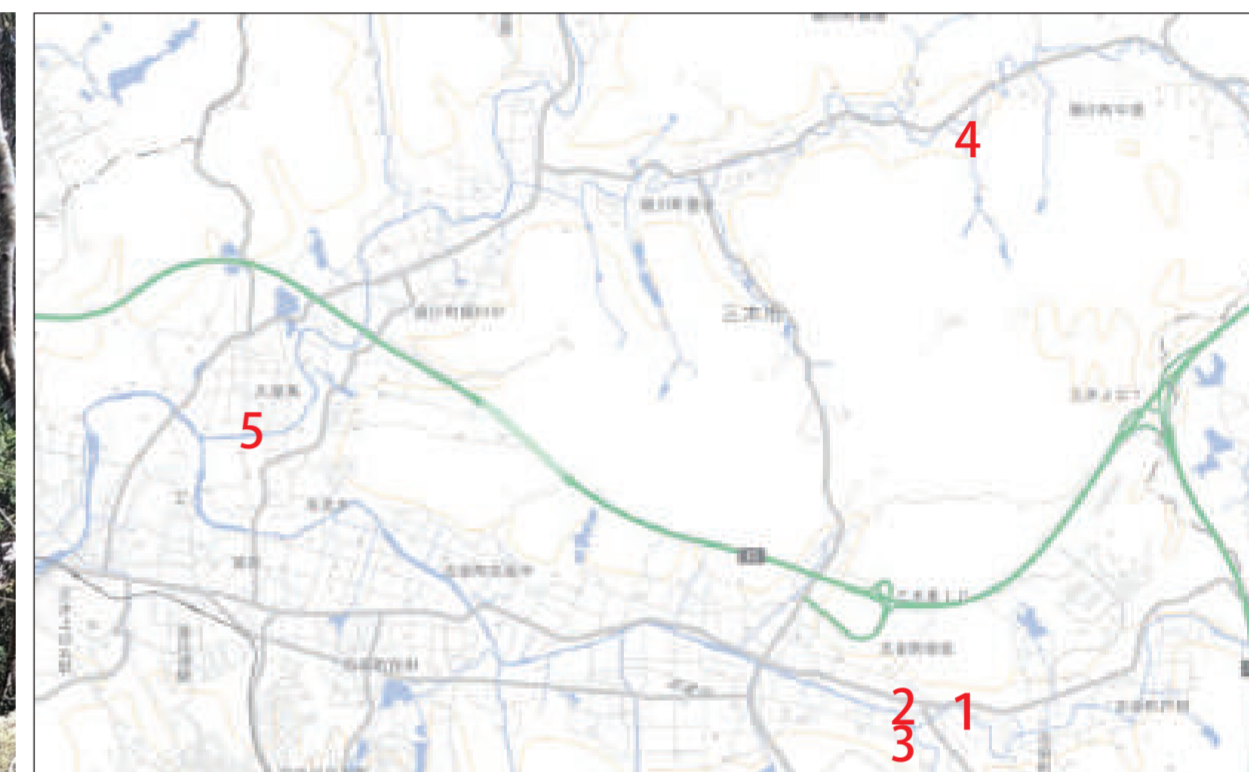
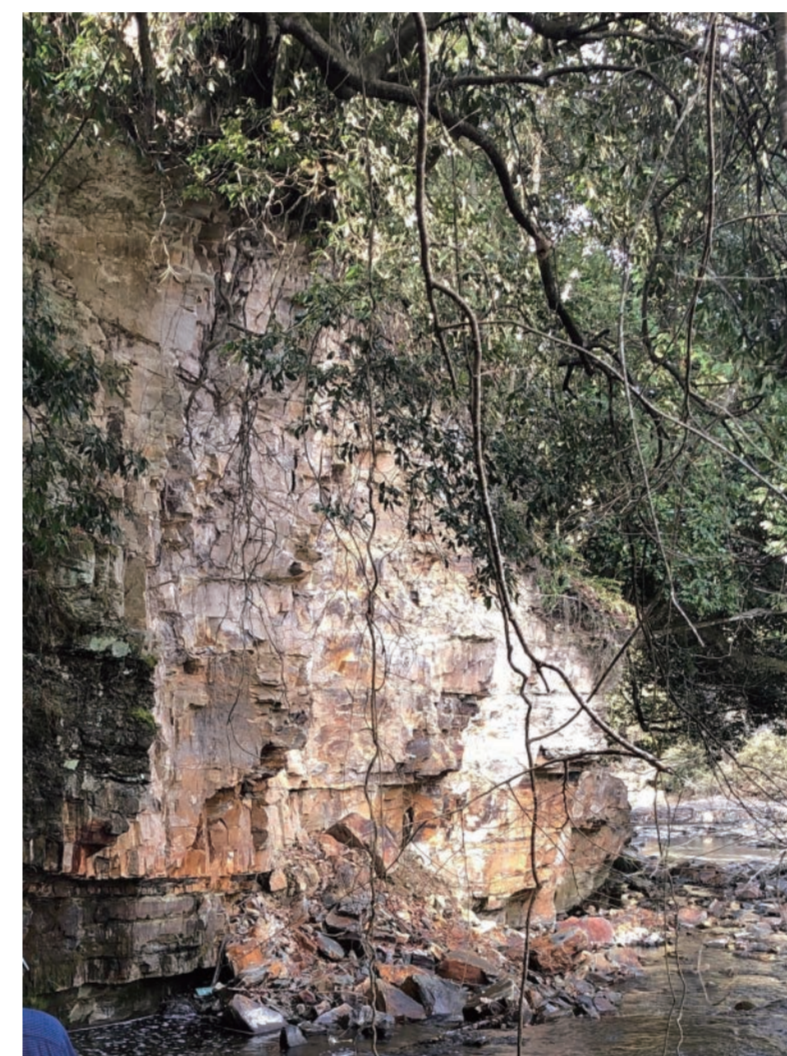
自然・環境評価研究部 地球科学研究グループ

半田 久美子



神戸層群の年代を調べるために、三田盆地の上部層にあたる細川層の凝灰岩の層序を調査しています。

これまでの研究から3枚の凝灰岩が報告されており、上位から久留美凝灰岩、法輪寺凝灰岩、石上山凝灰岩と呼ばれています。このうち久留美凝灰岩は法輪寺凝灰岩の上位であることが確認できました。また法輪寺凝灰岩のおよそ20m上位に厚さ約4mの凝灰質砂岩があることが分かりました。確実に石上山凝灰岩と言える露頭がまだ見つかっていないため、引き続き調査を実施します。



三木市に分布する神戸層群細川層の調査地点
数字は写真に対応します。

1. 三木市志染町三津田 淡河川沿い
法輪寺凝灰岩に対比される。



2. 三木市志染町御坂サイフォン橋付近
地表(最下部)が凝灰岩でその上は砂岩・礫岩。



3. 三木市志染町御坂サイフォン橋の南
法輪寺凝灰岩の上位の凝灰質砂岩。



4. 三木市細川町中里 法輪寺の南
法輪寺凝灰岩に対比される。



5. 三木市細川町久留美 潜水橋
美囊川の河床の露出する久留美凝灰岩。